

第 32 回全日本少年サッカー大会長野県大会 大会規定

1. 参加資格
 - ①平成 20 年度日本サッカー協会第 4 種及び女子（小学生）に加盟登録したチームであること。（監督 1 名、スタッフ 2 名、選手 18 名以内）
 - ②上記チームに所属する選手であり、日本協会発行の選手証を有するもの。
 - ③上記チームの構成は単一チームに限られ、年間を通じて継続的に活動していること。（全日本大会の出場のみを目的としたチーム登録は認めない。）
 - ④都道府県大会から決勝大会に至るまでに、同一選手が異なるチームへの移籍後、再び同一大会に参加することはできない。
 - ⑤優勝した場合、全日本少年サッカー大会決勝大会（8 月 2～9 日 J ヴェルジ）及び北信越少年サッカー大会（7 月 20～21 日福井県）に出場できること。

2. 試合方式
トーナメント方式
勝敗の決しない場合は、PK 戦により次戦への進出チームを決定する。
決勝戦のみ 10 分間の延長を行い、尚決しない場合は PK 戦による。

3. 競技規則
日本サッカー協会競技規則によるが、次を別に定める。
 - (1) 競技時間 前後半各 20 分、インターバル 7 分とする
 - (2) 試合球 4 号公認球（各チーム持参）
 - (3) 選手交代 自由な交代制とする。7 名まで登録し、7 名まで交代できる。
一度退いた競技者も再び出場でき、何度でも交代可能とする。但し、交代の手続きは、競技規則第 3 条に則る。
 - (4) メンバー表 ベンチ入りするすべての監督、コーチ、選手の氏名を記入すること。
ベンチに入ることのできる人数は、最大 10 名（交代要員 7 名、スタッフ 3 名）までとする。
 - (5) ユニフォーム 日本サッカー協会ユニフォーム規定に適合した異色のもの 2 着を登録し、試合に際しそれを着用する。正ユニフォームに 2 色を使用している場合、副はそれ以外の色とする。
 - (6) その他 退場および累積警告 2 度を受けた選手は次戦の出場を認めない。以後の処置については、県サッカー協会規律委員会において決定する。

4. 審判
 - (1) 2 名の帯同審判制とする。ただし内 1 名は、3 級以上の審判員とする。
 - (2) 主審は 3 級以上、副審および第 4 審は 4 級以上の審判員とする。
 - (3) 審判服（シャツ、パンツ、ストッキング、ワッペン）を必ず着用すること
 - (4) 主審は、試合終了後審判報告書を提出すること。

5. 競技場
 - (1) 競技場の大きさ 縦 80m 横 50m を基本とする
 - (2) ペナルティーエリア ゴールライン上ゴールポスト外側に 12.0m
その地点からゴールライン直角に 12.0m
 - (3) ゴールエリア ゴールライン上ゴールポスト外側に 4.0m
その地点からゴールライン直角に 4.0m
 - (4) センターサークル 6.5m
 - (5) ペナルティーマーク 8.0m
 - (6) ゴール 少年用（内寸 縦 2.15m 横 5.00m）
 - (7) フリーキック時ボールと壁との距離 6.5m

6. 注意事項
 - (1) 各チーム監督、コーチ、選手はスポーツ障害保険に加入済みであること。
 - (2) 競技中の障害（病気）事故については、各チームの責任とする。
 - (3) 学校その他施設利用については、各会場本部の指示に従うこと。